



熊本大学大学院教育学研究科

令和7年度履修証明プログラム募集要項

プログラム名	外国人材の受入れ・共生を支える教員等養成・研修プログラム
プログラムの目的	<p>本プログラムでは、外国につながる児童生徒の教育ニーズを深く理解するとともに、日本語指導教員や支援員、保護者、地域等と連携し、多文化共生の視点を活かした学校づくり、学級づくり、子ども同士の関係づくり等に貢献できる教員等の養成を目指しています。</p> <p>プログラムを通じて、以下のような人材(教員等)を養成します</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇外国につながる児童生徒を深く理解する人材 ◇外国につながる児童生徒の教育に専門性を発揮できる人材 ◇多文化共生の視点を活かした学校づくり、学級づくり等に貢献できる人材
受講期間	<p>令和7年8月～令和8年3月【総時間数 60 時間】</p> <p>※やむを得ない事情により必要時間の履修ができなかった場合は次年度まで延長可能とする。</p>
対象者・履修資格	<p>以下いずれかの条件を満たす者</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 現在、学校教員として実務についている者 ② 教員免許を保有している者
応募人数	40名程度
授業の方法	<p>外国につながる児童生徒の教育Ⅰ～Ⅳは熊本大学教育学部の講義室等において対面で実施し、対面授業に参加できなかった受講生には授業録画を配信しオンデマンド受講を可能にする。教育実践研究は日本語指導拠点校・外国人児童生徒受入れ校等において観察実習を行う。</p>
修了要件	<p>修了要件として、外国につながる児童生徒の教育Ⅰ～Ⅳ(48時間)及び教育実践研究(12時間)の計60時間を履修し、すべての科目について合の評価を得ること。修了者に対しては、学校教育法の規定に基づく履修証明書を交付する。なお、熊本県・市の学校教員(本学教職大学院在学者を含む)については、本人の意向を確認し、同意を得られた場合には、本プログラムの修了に関する情報を県・市教育委員会に提供し、研修履歴への記載等についての便宜を図ることとする。</p>
受講料	6万円(教職大学院在学者は無料)
申込方法・申込締切	<p>(1) 下記Webページの申込フォームからお申し込みください。 https://tsubaki.educ.kumamoto-u.ac.jp/guideline/index.html</p> <p>(2) 履歴書(所定様式)及び教員免許状(写)を所定フォルダにアップロードしてください。 (アップロード先は上記申請フォーム内に記載)</p> <p>申込期間：<u>令和7年5月1日(木)～6月15日(日)</u></p> 

個人情報の取扱い	申込みにあたり提供された個人情報は、本プログラムの運営に関すること以外の目的には使用しません。				
問合せ先	熊本大学大学院教育学研究科 人社・教育系事務課教育学事務チーム教務担当 〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-40-1 TEL 096-342-2522 FAX 096-342-2520 E-mail kyo-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp				
カリキュラム					
	科目名（開講時期）	課題領域	講義時間・回数	単位数	会場
1	外国につながる児童生徒の教育Ⅰ（8月中～下旬）	子どもの実態の把握 社会的背景の理解	90分 ・8回	1単位	熊本大学教育学部講義室
2	外国につながる児童生徒の教育Ⅱ（8月中～下旬）	日本語・教科の力の育成、異文化間能力の涵養	90分 ・8回	1単位	熊本大学教育学部講義室
3	外国につながる児童生徒の教育Ⅲ（9月・土日）	多文化共生の学校づくり、地域づくり	90分 ・8回	1単位	熊本大学教育学部講義室
4	外国につながる児童生徒の教育Ⅳ（2月・土日）	多文化共生の実現 教師としての成長	90分 ・8回	1単位	熊本大学教育学部講義室
5	教育実践研究 （事前指導：9～10月、 観察実習：10～12月・ 平日、事後指導：12月 ～1月）	熊本県・市の日本語指導拠点校等における実習（観察実習）	12時間 （事前事後指導を含む）	1単位	事前指導：遠隔（オンデマンド） 観察実習：日本語指導拠点校・センター校等 事後指導：熊本大学教育学部講義室

※各講義の詳細は申込み手続き完了後にお知らせします。